

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73221	2	前期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	地域保健活動演習 (Community Health Nursing Practice)				
担当教員名	伊藤 美千代/齋藤 尚子/崎山 紀子				
授業の概要及び到達目標					
<p>地域で生活する個人、家族、集団を対象に、健康の保持・増進のために実践されている施策、事業や活動の目的、内容、方法などを理解する。</p> <p>既存のデータから適切なグラフを作成し、地域における集団の健康・生活の特徴と、その関連要因について、要因間の関係を含めて理解し説明する。</p> <p>さらに、データから導き出した健康・生活の特徴と、地域住民の健康・生活状況と結びつけ読み解く。</p> <p>学習の到達目標は下記である</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在の市の人口統計および今後の人口の動きの予想についてデータをもとに説明できる。</li> <li>2. 市の位置、自然環境、土地利用、産業、交通、歴史について資料をもとに説明できる。</li> <li>3. 地域住民の生活環境を含む生活の実態を理解するために、既存データから予測を立てた上で、地域住民とコミュニケーションをとり、データと実際を統合する。</li> <li>4. 保健活動を支える制度、社会資源を把握し、住民、住民組織、行政、その他の連携・協働の実際を理解する。</li> <li>5. 地域で生活する高齢者、子育て世代、子どもたちの健康・生活の特徴を理解し、グループごとにテーマを決めて調べ学習を行い、データに基づいた発表を行うことができる。</li> </ol>					
準 備 学 習 等					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の前に以下を参考に調べ学習をした上で授業に臨むこと（1回目授業で説明あり） <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 船橋市の概要（歴史、地域住民の人口動態や世帯の特徴、産業、保健・福祉施策等） 【船橋市の HP】 「船橋市の紹介」 <a href="http://www.city.funabashi.lg.jp/shisei/shoukai/index.html">http://www.city.funabashi.lg.jp/shisei/shoukai/index.html</a> 「船橋市船橋市民便利帳」 <a href="https://ebooks.wagamachi-apps.com/actibook-file/index/000/001/533/HTML5/pc.html?memberNum=0&amp;groupNum=1G#/page/1">https://ebooks.wagamachi-apps.com/actibook-file/index/000/001/533/HTML5/pc.html?memberNum=0&amp;groupNum=1G#/page/1</a></li> <li>2) 参加する事業の経緯、目的、内容等 「船橋市総合計画後期基本計画」「地域福祉計画推進事業要覧」「第8次高齢者保健福祉計画」「船橋市子ども・子育て支援事業計画」「船橋市保健所事業年報」等</li> </ol> </li> </ol>					

成績評価の方法	学内の個人およびGWの取り組み（提出物含む）：30 点 フィールドワーク（ワークシート、参加態度等）：20 点 発表会：30 点 最終レポート：20 点
テキスト	・荒賀直子・後閑容子編集,「公衆衛生看護学.jp」第4版データ更新版,インターメディカル,2017年. ・「国民衛生の動向 2018/2019」第65巻第9号,一般社団法人厚生労働統計協会 2018.
参考図書	各種白書（公衆衛生看護援助論Ⅰで提示済み） 授業で提示する
備考	本科目の単位取得は、公衆衛生看護援助論Ⅱ、公衆衛生看護援助論Ⅲ、公衆衛生看護学実習の履修前提条件となる。 各教員のオフィスアワーについては看護学科「オフィスアワー」の項を参照ください。
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 回～6 回、10～15 回は、2 コマ続きの学内演習を行う。</li> <li>・ 7 回～9 回は、グループによって日程が異なり 3 コマ続きで船橋市内の事業に参加する。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 回：オリエンテーション、船橋市概要の理解（人口統計、産業、歴史、地理、他）</li> <li>2 回：グループに分かれて船橋市概要の共有と、事業に参加する住民の健康/生活の特徴を考え、データを収集する。</li> <li>3 回：アセスメント図の作成</li> <li>4 回：参加する事業の理解およびアセスメントに要するデータ収集</li> <li>5 回：参加する事業の理解およびアセスメントに要するデータ収集</li> <li>6 回：フィールド学修の準備（目的の明確化、取り組み姿勢他） （1～6 回で参加する事業または組織活動の運営者による活動紹介を予定）</li> <li>7 回：フィールド学修およびカンファレンス（グループで活動）</li> <li>8 回：フィールド学修およびカンファレンス（グループで活動）</li> <li>9 回：フィールド学修およびカンファレンス（グループで活動）</li> <li>10 回：アセスメント図をグループ内で共有し、グループでアセスメント図を作成</li> <li>11 回：グループでアセスメント図の追加修正</li> <li>12 回：アセスメント発表会の準備</li> <li>13 回：アセスメント発表会の準備</li> <li>14 回：発表会</li> <li>15 回：発表会と振り返り</li> </ol>	